われわれは遺族の相互扶助、道義の高揚につとめ、平和日本建設に寄与し、戦争の防止、世界恒久平和の確立を期するを信条とする。

いさお新聞

発行所　〒703-8272
岡山市中区奥市3-22　岡山県遺族連盟
電話代表　086-271-7175
ＦＡＸ　086-271-4815
郵便振替岡山01230-9-3532
発行責任者　岸本清美
編集責任者　豊島始男
印刷所　西尾総合印刷株式会社
定価（郵税共）年額1,200円
ホームページ http://izoku-okayama.jp/

祝「いさお会館」並びに「参拝者待機所・回廊」竣功

岡山県護國神社御創立140年記念事業

竣功奉告祭、奉告式典を催行

ご英霊鎮まる岡山県護國神社の御創立百四十年を記念し、未来永劫の社頭護持を目標に昨年から進めていた境内整備事業は、事業の柱となる「いさお会館」並びに「参拝者待機所・回廊」が四月二十三日に完成し、五月五日、恒例の岡山県戦没者春季慰霊祭に引き続いて竣功奉告式典が行われた。

奉告式典で祝辞を述べる
古賀誠会長（上）と水落敏栄常任顧問（下）

式典には県内各地からご遺族ら約二千五百人が参列。記念事業奉賛会の湯浅正敬副会長（県護國神社宮司）、岸本清美副会長（県遺族連盟会長）が式典参列者に事業報告とお礼の挨拶を行うと共に、ご臨席をいただいた古賀誠日本遺族会会長、水落敏栄同常任顧問からお祝いの言葉を賜り施設の完成を祝った。

新築された「いさお会館」は鉄骨造平屋建・床面積四五五・三〇㎡、各種会合に利用できる会議室（約九十名収容）や応接室をはじめ、神社祭儀の準備等のための和室・美粧室（それぞれ二部屋）、潔斎場などを備えると共に、慰霊祭や神前結婚式など多人数の利用に対応できる様、男女手洗スペースも広く設計（立面及び平面図は本紙一一三五号／平成21年11月号に掲載）されている。

そして、社殿の近くに新たに設置された参拝者待機所（御祈祷待合所）は鉄骨造平屋建・床面積五三・三六㎡。室内は側面及び中央に木製の休憩椅子を配置、また、冷暖房・男女手洗場も完備されており、昇殿参拝までの待機時間を快適に過ごせるよう配慮されている。

また、「いさお会館」と社殿とを結ぶ「回廊」は、幅二・六m、総延長約六〇m。回廊の北側には乗用車で二十五台程度入る駐車場も設置した。

なお、式典前の四月二十六日には、「いさお会館」会議室に奉賛会役員、設計・施工業者ら各関係者が参集し竣功奉告祭が執り行われた。奉告祭では各関係者代表が神殿に玉串を奉奠、ご英霊に無事の竣功を奉告すると共に、設計管理の岩城設計事務所、施工をいただいたアイサワ工業岡山支店へ奉賛会から感謝状が贈られた。

新しく整備された護國神社境内

玄関及びホール

中央廊下

会議室

和室１及び和室２

「いさお会館」全景

美粧室／踏込

厨房

潔斎場

手洗（女性）

改修を行った舞楽殿

回廊

参拝者待機所（御祈祷待合所）

手洗（男性）

室内

春季岡山県戦没者慰霊行事
新緑の護國神社で厳修

好天に恵まれた五月五日、新緑眩しい岡山県護國神社において、岡山県戦没者顕彰会（小田春人会長／県議会議長）主催により、恒例の岡山県戦没者春季慰霊祭が厳かに執り行われ、県下各地から戦没者ご遺族・一般参拝者ら約二千五百人が参列した。

慰霊祭では、古矢博通岡山県副知事や各界代表、そして日本遺族会の古賀誠会長、水落敏栄常任顧問らが神前に玉串を捧げ、ご英霊をお慰めすると共に世界平和実現をお誓いした。

また、翌六日には護國神社春季例大祭が執り行われ、約千人が参列し、ご英霊を偲んだ。

五・六日の春季慰霊行事にご参列をいただいた各界代表の方々は次のとおりです。

（順不同・敬称略）

岡山県を代表し挨拶する古矢博通副知事

▼岡山県副知事
古矢　博通

▼岡山県議会議長
小田　春人

▼国会議員
逢沢　一郎
村田　吉隆（代理）
加藤　勝信（代理）
阿部　俊子（代理）
平沼　赳夫（代理）
津村　啓介
柚木　道義
高井　崇志（代理）
姫井由美子（代理）
橋本　岳（前／代理）
片山虎之助（前／夫人）

▼日本遺族会
古賀　誠

水落　敏栄

▼岡山県議会議員
戸室　敦雄
千田　博通
古山　泰生
岡崎　豊
河本　勉
渡辺　英気
小田　圭一
伊藤　文夫
佐藤　真治
久徳　大輔
波多　洋治
神宝　謙一
蜂谷　弘美
小倉　弘行
浅野　實
渡辺　吉幸
小林　健伸
太田　正孝
江本　公一
中塚　周一

▼岡山県町村会副会長
佐藤　友彦（早島町）

▼市町村長
山野　通彦（矢掛町）

▼市町村議会議員
松島　重綱（岡山市）
和気　健（〃）
松本　義隆（津山市）

▼岡山県神社庁庁長
笹井　和男

慰霊祭に臨むご遺族をねぎらう水落日本遺族会常任顧問

谷垣禎一自民党総裁ら
国会議員115人が参拝

超党派の国会議員でつくる「みんなで靖國神社に参拝する国会議員の会」は、谷垣禎一自民党総裁をはじめとする衆参両院国会議員百十五人（本人五十九人）が、靖國神社春季例大祭期間中の四月二十二日午前八時、そろって靖國神社に昇殿参拝を行い英霊に感謝の誠を捧げた。なお、鳩山内閣の閣僚・副大臣・政務官の参拝は、昨年秋の例大祭と同じく今回も行われなかった。

参拝された百十五人の衆参両院議員は次のとおり。（党派別・敬称略）

議員本人参拝

▼衆議院　三十七人

【自民党】逢沢一郎、稲田朋美、今村雅弘、遠藤利明、大村秀章、小里泰弘、小野寺五典、梶山弘志、**加藤勝信**、北村茂男、**古賀誠**、高市早苗、高木毅、竹下亘、武部勤、谷垣禎一、西村康稔、古屋圭司、保利耕輔、町村信孝、森山裕、山口俊一

【民主党】網屋信介、古賀敬章、鈴木克昌、橘秀徳、長尾敬、萩原仁、福島伸享、松原仁、向山好一、渡辺義彦

【たちあがれ日本】平沼赳夫

【みんなの党】柿澤未途

【無所属】衛藤征士郎、城内実、鈴木宗男

▼参議院　二十二人

【自民党】秋元司、有村治子、泉信也、**尾辻秀久**、岸信夫、佐藤昭郎、佐藤正久、谷川秀善、中川雅治、西島英利、松山政司、**水落敏栄**、山谷えり子

【民主党】田名部匡省、外山斎、羽田雄一郎

【たちあがれ日本】中川義雄、藤井孝男

【国民新党】亀井郁夫、森田高

【改革クラブ】大江康弘、山内俊夫

昇殿参拝する谷垣自民党総裁

議員代理参拝

▼衆議院　三十八人

【自民党】赤澤亮正、**あべ俊子**、甘利明、石破茂、伊東良孝、井上信治、江渡聡徳、小渕優子、金子一義、金子恭之、金田勝年、木村太郎、小池百合子、佐田玄一郎、塩崎恭久、柴山昌彦、田中和徳、棚橋泰文、田野瀬良太郎、田村憲久、徳田毅、中川秀直、中谷元、二階俊博、西野あきら、額賀福志郎、平井たくや、福井照、松本純、森喜朗、山本公一、山本幸三、山本拓、山本有二、吉野正芳

【民主党】田名部匡代、早川久美子、笠浩史

▼参議院　十八人

【自民党】青木幹雄、浅野勝人、市川一朗、岩城光英、岡田宏、河合常則、岸宏一、佐藤信秋、関口昌一、塚田一郎、中曽根弘文、林芳正、松村龍二、山本一太、山本順三、吉田博美

【国民新党】自見庄三郎

【無所属】小池正勝

戦没者の遺児の皆さんへ
「遺児による慰霊友好親善事業」ご案内

平成三年から日本遺族会が政府の委託・補助を受けて実施している「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」は、戦没者遺児に対する慰藉の一環として、父を国に捧げた戦没者の遺児が、一度は亡き父の眠る地に赴き心ゆくまで慰霊追悼を行うと共に、現地の人々と友好親善を深めることを目的とした事業です。

既に、本紙二月及び四月号において平成二十二年度に計画されている地域の実施概要をお知らせしましたが、このたび事業実施二十周年記念事業として行われる洋上慰霊をはじめ、全十五地域の日程・訪問地が決定しました。

一人でも多くの遺児が、亡き父の終焉の地において慰霊追悼の誠を捧げられます様、皆様のお申し込みをお待ちしています。募集要領は次のとおりです。

▼実施地域等
実施計画概要のとおり。

▼応募資格
実施地域（周辺公海上を含む）で父を亡くした戦没者の遺児に限る。

▼協賛金　十万円

▼集合場所等
(1)　集合場所は、洋上慰霊は神戸市。その他の地域は東京都（参加者の募集状況により変更の場合有）集合。
(2)　集合場所で結団式及び渡航手続き・説明会を行います。
(3)　集合場所及び解散場所から自宅までの交通機関等の手配は参加者自身で（個人負担）。

▼お申し込み先
県遺族連盟へ。

平成22年度【戦没者遺児による慰霊友好親善事業】実施計画概要

	実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
		主な訪問予定地		
1	旧満州	平成22年８月３日㈫～８月12日㈭　９泊10日	40人	平成22年６月18日
		A班＝瀋陽、ハルピン、チチハル、北安、ハイラル等 B班＝大連、瀋陽、長春、吉林、牡丹江、延吉、北朝鮮（中国国境より遥拝）		
2	旧ソ連	平成22年８月18日㈬～８月26日㈭　８泊９日	45人	平成22年７月２日
		A班＝ハバロフスク、樺太（ユジノサハリンスク、スミルヌイフ） B班＝ハバロフスク、コムソモリスク、ビロビジャン、イズベストコーワヤ C班＝イルクーツク、ウランウデ、チタ		
3	西部ニューギニア	平成22年８月27日㈮～９月５日㈰　９泊10日	40人	平成22年７月13日
		A班＝ジャヤプラ（旧ホーランジャヤ）、ゲニム、ビアク島 B班＝ビアク島、ソロン、マノクワリ		
4	中国	平成22年９月７日㈫～９月15日㈬　８泊９日	45人	平成22年７月26日
		A班＝北京、鄭州、太原　　C班＝武漢、岳陽、長沙 B班＝上海、南京、武漢		
5	東部ニューギニア	平成22年９月18日㈯～９月25日㈯　７泊８日	80人	平成22年８月４日
		A班＝マダン、ウエワク、ボイキン、ブーツ B班＝ギルワ、ラエ、ポポンデッタ C班＝マヌス島、ニューアイルランド島（カビエン）、ニューブリテン島（ラバウル） D班＝ブカ島、ニューブリテン島（ラバウル）		
6	フィリピン	平成22年10月６日㈬～10月13日㈬　７泊８日	120人	平成22年８月20日
		A班＝マニラ及び東方山地、クラーク B班＝コレヒドール島、バターン半島、クラーク、ルソン島南部 C班＝ルソン島北部（バギオ、クラーク） D班＝ルソン島北部（ツゲガラオ、バレテ峠、ソラノ、キャンガン） E班＝ネグロス島（バコロド）、ミンダナオ島（ダバオ、タモガン） F班＝セブ島、レイテ島（ブラウエン、リモン峠、ビリアバ、オルモック）		
7	トラック諸島	平成22年10月16日㈯～10月23日㈯　７泊８日	20人	平成22年９月１日
		春島、夏島、秋島、水曜島及び環礁内洋上慰霊		
8	パラオ諸島	平成22年10月16日㈯～10月23日㈯　７泊８日	20人	平成22年９月１日
		パラオ本島、アンガウル島、ペリリュー島及び環礁内洋上慰霊		
9	ソロモン諸島	平成22年10月28日㈭～11月４日㈭　７泊８日	35人	平成22年９月13日
		A班＝ガダルカナル島、ツラギ島 B班＝中部ソロモン諸島（ニュージョージア島ムンダ、コロンバンガラ島ビラ）		
10	ボルネオ・マレー半島	平成22年11月10日㈬～11月19日㈮　９泊10日	40人	平成22年９月27日
		A班＝コタキナバル、ケニンゴウ、ミリ、ブルネイ、ラブアン、マレー半島 B班＝シンガポール、バンジェルマシン、バリクパパン、タラカン、タワウ、サンダカン		
11	ミャンマー	平成22年11月29日㈪～12月８日㈬　９泊10日	40人	平成22年10月15日
		A班＝ヤンゴン、ペグー、トングー、メークテーラ、サラワジ B班＝ミートキーナ、マンダレー、アキャブ		
12	インド	平成22年11月29日㈪～12月８日㈬　９泊10日	15人	㊟平成22年８月２日
		インパール、コヒマ		
13	マリアナ諸島	平成23年２月２日㈬～２月８日㈫　６泊７日	40人	平成22年12月15日
		A班＝グアム島、サイパン島 B班＝サイパン島、テニアン島		
14	マーシャル諸島	平成23年２月12日㈯～２月20日㈰　８泊９日	20人	㊟平成22年10月12日
		マーシャル諸島（クエゼリン、ルオット、マジュロ）		
15	洋上慰霊	平成23年３月５日㈯～３月16日㈬　11泊12日	300人	平成22年12月５日
		沖縄方面、台湾方面、バシー海峡、フィリピン沖、レイテ沖、小笠原方面の各海域		

○実施時期の日数には、東京都内等の集合日が含まれます。
○実施時期、日程等については、相手国の事情等により変更や取り止めになる場合があります。
○㊟のマーシャル諸島及びインドは、入域許可取得のため実施日の約４カ月前が締切りとなります。

戦没者遺骨収集事業
参加者募集

このたび、厚生労働省による平成二十二年度戦没者遺骨収集事業の実施概要が発表され、日本遺族会から事業への協力依頼がありました。会員皆様方のご協力をお願いいたします。

▼実施地域等
別表のとおり。
但し、相手国の事情等により実施時期の変更や事業が中止になる場合があります。

▼参加資格
(1)　遺族会の会員で原則として満七十五歳未満で身体健康な方。
(2)　戦没者の孫。但し満十八歳以上の男子。（二十歳未満の方については親権者の承諾が必要です）

▼申込締切
各地域とも出発の一カ月半前。

▼申込み先
県遺族連盟まで。折り返し参加登録書を送付いたします。
※参加希望者が募集定員を上回る場合は日本遺族会で選考。

派遣地域	派遣期間（予定）	人員
ハバロフスク地方	８月12日～８月30日	2
沿海地方	８月29日～９月17日	4
硫黄島（一次）	７月１日～７月16日	4
東部ニューギニア	８月８日～８月27日	2
モンゴル（ノモンハン）	８月22日～９月７日	4
硫黄島（二次）	９月30日～10月15日	4
フィリピン	10月12日～10月31日	2
ビスマーク・ソロモン諸島	10月24日～11月12日	2
硫黄島（三次）	12月２日～12月17日	4
硫黄島（四次）	１月27日～２月15日	5
インドネシア	２月21日～３月10日	2

追悼のことば

津山市河辺　**神尾　睦子**

「昭和十七年一月十二日。大東亜戦争が始まると直ぐ戦死したんよ」と、母から聞いていました。

当時、私は二歳にもならなかった年齢だったので全然覚えがありません。物心がついてから、何時も写真を見ては母からお父さんのことを色々聞いていました。小さい時は「ふーん」と余り何も思いませんでした。

お父さんは跡継ぎではなかったので、私たち母子は母の実家の祖父母が引き取ってくれました。勿論、今とは全然違いますが、あまり不自由なく何とか暮らせました。私の息子たちに当時のことを話してやっていますが、「俺は爺さん似かな？〇〇がよく似ているから」とか、「戦争は絶対嫌だな」と言っています。

ボルネオはどんな所かな？どんな色をした海なのかな？父は海底に眠っているのだろうか？一月だったから寒かっただろうな？と、想いを巡らせていました。今日は主人に買ってもらったTシャツを着て来ました。やっと願いが叶った気がします。

母は五十七歳で亡くなりましたが、健康を与えて下さいました父上様、感謝、感謝で一杯です。最大の宝物です。それと、長女、長男の二人の孫もできました。

今の世の中、トップである国会でも戦争以上のバトルをやっている様な気がします。我々国民が選んだのだから仕方がないと思いながらも、はがゆいです。先ず身近な夫婦、そして家族と輪を広げ、皆が平和になるよう頑張りたいと思います。

不可能なことですが、今一目だけでもお父さんに会って、その気持ちを伝えたいです。

十月十九日　父上様　睦子より

ボルネオ・タラカン島の海岸で
慰霊祭に臨んだ神尾さん（H21.10.19）

※神尾さんは、昨年十月十四日から二十三日の日程で行われたボルネオ・マレー半島慰霊友好親善訪問に参加。ボルネオ・タラカン島リンカス沖において掃海従事中に戦没された父上に追悼の言葉を捧げられました。

お父さんへ

倉敷市真備町岡田　**富岡　正江**

お父さん、会いに来るのが遅くなり申し訳ありません。やっと来ることができました。

私は、お父さんの顔も声も覚えていません。お父さんに抱っこしてもらったこともなく、その温もりもわかりません。しかし、お父さんが優しい人だったことは、母や近所の方からの話からわかります。母への手紙にも、私のことを〝頼む頼む〟と書いてあり、何時も心配してくれていたことがわかります。そのお父さんの愛情を糧にして今日まで来れた様な気がいたします。このオリオン峠で最後をむかえた時は本当に悔しく、無念だったことでしょう。

私たちにとっても辛く悲しいことでした。特に、母は残された年寄り二人と子供との女四人の生活を支えるため、本当に良く頑張って下さいました。昨年、そちらへ旅立ちましたので労ってあげて下さい。よろしくお願いします。二人の平和で静かな幸せを願っています。

家では今、お父さんが食した柿が色付いています。お父さんがいた頃からある梅や桜、李（すもも）も、春には美しい花を咲かせます。その時は二人で見て楽しんで下さいね。

今日は、お父さんがあの頃、口にされた品物とお茶とお酒を持って参りました。タバコも日本名のものを持参しましたので、どうぞ召し上がって下さい。

※富岡さんは、昨年十一月十八日から二十五日の日程で行われたフィリピン慰霊友好親善訪問団に参加。二十二日、父上の戦没地・オリオン峠に建立されている慰霊碑において追悼の言葉を捧げられました。

フィリピン北部オリオン峠の慰霊碑で
亡き父上の慰霊祭（H21.11.22）

インパール作戦で戦死した父へ

倉敷市酒津　**近藤　卓志**

戦後六十四年が経ちましたが、お父さんの戦没地・フーコン地区に只今参ることが出来ました。遠く異国の地で一人寂しい思いをしたことでしょう。どんなに悔しく辛かったか察しいたします。お参りするのが遅くなって申し訳ありませんでした。今回、日本遺族会のご好意により参拝することが出来ました。

お父さん、お母さんは九十五才になりましたが、今も達者で若くして亡くなったお父さんの分まで長生きすると元気に頑張っています。ご安心下さい。

私が二歳の時に出征されたお父さん。物心がついた時には父親のいない生活でした。両親の揃った家族を見る度に父親のいない寂しさを痛感しました。家族の幸福を奪った戦争を恨みました。

お母さんから、十年間生活を共にしたお父さんの話をよく聞かされました。岡山の部隊へ駐屯していた頃、休日には当番の兵隊さんと一緒に帰宅したそうですね。軍服の似合うお父さんを見て改めて惚れなおしたそうです。短い年月でしたが、おそらくお母さんにとっては一番幸福な時期だったのでしょう。

その幸福も長続きすることなくタイへ赴任しましたね。「異国の地で家族の安否を気遣い、現地で同世代の子供達を見るたびに思い出しては心が痛む」と書いてあるハガキを読む度に、今も目頭が熱くなります。そのハガキがお父さんからの最後の便りとなりました。今もお父さんの遺品として、お母さんの手で大切に保管されています。

タイから補充将校としてビルマのインパール作戦に参戦しましたね。インパール作戦は歴史上かつてない言葉に絶する戦闘だったと聞いています。

その後、お母さんの元へ一通の手紙が届きました。それはお父さんの死

亡告知書でした。―陸軍中尉・近藤正、昭和十九年五月三十日、ビルマ、フーコン地区ミンジボンに於いて戦死―。

若くして未亡人となったお母さん。覚悟は出来ていた様ですが、突然の悲報を受けた時は何も手につかなかったとのことでした。しかし、残された幼い三人の子供達の寝顔を見る度に奮起し頑張ったそうです。当時の苦労を思い出しては悲痛な顔をするお母さんです。

昭和二十一年十一月、お父さんの遺骨が我家に帰還しました。小指程の遺骨で、戦友の方の手によって大事に管理されていたと聞きました。後日、お父さんの上官よりお母さん宛の手紙を頂きましたが、激戦地インパール、フーコンの戦闘、最前線で指揮をとる父の姿、戦死時の生々しい様子などを詳細に記した内容の手紙でした。今でも読むたびに涙が止めどなく流れ、最後まで読むのが辛い文章です。日本国のために戦ったお父さんを尊敬し誇りに思っています。

現在、母、妻と三人で暮らしていますが、隣に住む長男夫婦と二人の孫が毎日家に来ています。孫、ひ孫たちと会話している時のお母さんの幸福そうな顔。朝、昼、夕方の散歩を楽しみに健康で幸福な日々を送っていますのでご安心下さい。

最後になりましたが、父をはじめインパール作戦で亡くなられた戦友の皆様方らご英霊の冥福をお祈り申し上げます。

※近藤さんは、昨年十一月二十八日から十二月六日の九日間、ミャンマー慰霊友好親善訪問団に参加。十二月一日にイラワジ川中洲ノンタロー島マブビノ丘（ミートキーナ）で行われた個人慰霊祭で、遠くに霞むフーコン山系を望みながら、亡き父に慰霊文を捧げられました。

戦没地・フーコン地区での慰霊祭は現地の事情で叶いませんでしたが、移動の機上から眼下に原生林が茂るフーコンの山河を遥拝されました。

フーコン山系を遠くに望むマブビノ丘で父に追悼の言葉を捧げる近藤さん（H21.12.1）

訃報

遺族運動並びに県遺族連盟の運営にご尽力をいただいた青江元副会長、岡﨑前副会長が相次いで逝去されました。

ここにご生前のご功績に感謝申し上げますと共に謹んでご冥福をお祈りいたします。

岡崎　真佐則　氏
前岡山県遺族連盟副会長
前瀬戸内市遺族連合会会長
四月二十六日逝去（行年七十六歳）

青江　四郎　氏
元岡山県遺族連盟副会長
元小田郡遺族連合会会長
五月十日逝去（行年九十三歳）

東京の夏の風物詩―靖國神社みたままつり　献灯御案内

ご英霊をお慰めするため、三万を超える献灯や懸ぼんぼりで九段の夜を彩る「みたままつり」が七月十三日から十六日まで、四日間賑々しく執り行われます。御遺族・戦友会・崇敬者の方々など、多くの皆様方の御献灯をお待ちしています。

【献灯初穂料】
大型献灯　一灯につき　一万二千円
小型献灯　一灯につき　三千円

【永代献灯】
「みたままつり」の献灯行事が存続する限り「みあかし」を毎年掲揚させていただきます。是非、御利用下さい。
大型献灯　一灯につき　二十万円
小型献灯　一灯につき　七万円

◎お申し込みは
〒一〇二―八二四六　東京都千代田区九段北三―一―一
靖國神社社務所　献灯係
電話　〇三―三二六一―八三三六
ＦＡＸ　〇三―三二六一―〇〇八一・八三一〇

◎申込締切　六月二十日

遺族会の動き

平成二十二年五月行事表

1日　岡山市岡山遺族連合会役員総会（県護國神社研修所）
3日　比島観音春季例祭典（最上稲荷・比島観音前）
5日　県戦没者春季慰霊祭・県護國神社御創立百四十年記念事業竣功奉告式典（県護國神社）
　　倉敷市児島戦没者慰霊祭（中山忠魂碑）
6日　真庭市落合町護國神社春季大祭（落合町護國神社）
　　県護國神社春季慰霊大祭（県護國神社）
8日　都窪郡早島町遺族会総会（早島町中央公民館）
　　岡山市西大寺遺族連合会女性部総会並びに母に感謝する会（岡山憩いの村）
11日　倉敷市遺族連合協議会総会（くらしき健康福祉プラザ）
　　瀬戸内市遺族連合会総会（牛窓町公民館）
14日　高梁市湯野地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
15日　倉敷市遺族連合会総会（くらしき健康福祉プラザ）
17日　笠岡市遺族連合会総会（笠岡市老人福祉C）
　　高梁市高梁地区戦没者慰霊祭・総会（高梁総合福祉C）
21日　倉敷市児島遺族連合会総会（児島文化C）
23日　新見市遺族連合会役員総会（新見市総合福祉C）
24日　岡山市南遺族連合会役員総会（岡山市妹尾支所）
25日　井原市戦没者追悼式（井原市民会館）
　　高梁市川上町戦没者慰霊祭（県護國神社）
26日　備前市遺族連合会総会（備前市役所）
　　浅口市郡遺族連合会評議員会（鴨方町内）
27日　水おち敏栄君を励ます会（九段会館）
　　日遺理事会・評議員会（九段会館）
28日　日遺政理事会・総会（九段会館）
　　日遺女性部幹事会（九段会館）
　　日遺支部事務局長会（九段会館）
　　日遺支部事務局職員共済会理事会・評議員会合同会議（九段会館）
29日　日遺政都道府県本部事務局長会議（九段会館）
　　日遺女性部研修会（九段会館）一泊
31日　岡山市津高地区遺族会総会（津高公民館）

平成二十二年六月行事表

2日　小田郡矢掛町戦没者追悼式（矢掛町農村環境改善C）
4日　久米郡久米南町戦没者慰霊祭（県護國神社）
5日　久米郡美咲町旭地区戦没者慰霊祭（旭英霊社）
　　玉野市遺族連合会定期総会（玉野総合福祉C）
6日　真庭市遺族連合会総会（勝山保健福祉C）
7日　加賀郡吉備中央町遺族会総会（いきがい支援C）
10日　県護國神社総代・大総代合同会議（いさお会館）
11日　県連盟正副会長・常任理事合同会議（県連盟会議室）
14日　県連盟理事・評議員・監事合同会議（いさお会館）
20日　参議院議員選挙公示（予定）
24日　浅口市鴨方町遺族会護國神社正式参拝（県護國神社）
25日　岡山市戦没者追悼式（岡山市民会館）